

## 年頭のごあいさつ



八雲町長

いわむらかつのり  
**岩村克詔**

新年明けましておめでとう  
ございます。

町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の社会情勢は、長期化する厳しい経済状況に加え、先の東日本大震災や昨年発生した熊本地震からの災害復興、そして、いまだ先行きが不透明な社会保障等のさまざまな課題が山積し、この影響を受け経済も厳しさを増しております。当町におきまして、今後、国からの普通交付税の削減が考えられますことから、益々厳しい財政運営を強いられると推測されます。このような状況から、将来を見据えた効率的かつ効果的な予算編成が重要であり、本年も、徹底した行財政改革による財源の確保と、

重点施策の着実な実施に全力を傾注して参りたいと存じます。

昨年を振り返りますと、3月には道民待望の北海道新幹線が開業し、津軽海峡を渡り北海道から九州まで往来が可能となりました。町としても「自然」や「食」をはじめとする地域資源を最大限活用し、この開業効果を地域経済の発展や交流人口の拡大につなげるよう取り組んで参ります。

また、8月30日には、台風10号によるこれまで経験したことのない暴風の影響により地域一帯が大規模停電に陥り、住民生活や農林水産業資源にも甚大な被害をもたらしました。本年も引き続き道や国と連携して早期復興に向けて取り組んで参りたいと存じます。

ふるさと応援寄附金奨励事業は、町内事業者のご尽力により魅力ある特産品を豊富に

揃えられましたことから、目標を大幅に上回り好調に推移しております。これからも町内経済の活性化に向けて魅力ある八雲町を全国に発信して参ります。

八雲町のまちづくりの基本となる八雲町総合計画の計画期間が、平成29年度で終了となることから、現在、平成30年度からの次期総合計画の策定に着手をしているところであります。住民および各種団体等へのアンケートの実施や町民グループ会議などを通じて町民皆さまから貴重なご意見を頂戴し、第一次産業の振興をはじめ、人口減少、少子高齢化への対応など将来にわたって町民が夢と希望を持って安心して暮らせる町づくりを目指して取り組んで参りますので、今後とも町民皆さまのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして、幸せで実り多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 地域おこし協力隊が着任しました

12月1日より1名の地域おこし協力隊が着任しました。地域おこし協力隊は、さまざまな地域協力活動を行いながら「まちづくり」「地域活性化」に貢献し、最終的には町へ定住することを目指しています。役場の商工観光労政課に席があり、街中やイベント等で見かけたら気軽にお声掛けください。

もん ま たかし  
**門馬 隆** (53歳)



八雲町に親近感をもったのは、今から3年程前「オートリゾート八雲」でキャンプをした時でした。そこで見た景色の素晴らしさ、管理棟の方や出会った人々の優しさは今でも忘れません。そんな八雲で私は「53歳の地域おこし協力隊」として働かせていただきます。今までは旅行会社において商品を企画していましたが、今度は迎え入れる立場として八雲の魅力を活かした企画を皆さまと一緒に発信出来ればと思っています。

きた がわ しやういちろう  
**北川 庄一郎** さん  
(熊石泊川町)



高齡者叙勲受章  
**瑞宝単光章**(消防功労)

受章おめでとう  
ございます



北川さんは、昭和37年1月に旧熊石村消防団に入団以来、平成17年3月に退団されるまで、43年余の永きにわたって、生業である漁業を営みながら、消防団員として幾多の火災や各種災害に出動し、果敢な行動力と卓越した指揮能力を発揮し地域防災に尽力されました。

豊富な消防経験をもとに積極的な職責観念で団員を統率し、団員の教育訓練、消防施設の整備強化に努め、消防団の発展に尽力する等、数々の功績が認められ、今回の受章となりました。